

有明海沿岸道路に関する要望

**熊 本 県
熊本県議会**

**有明海沿岸インフラ整備3県議会連絡会議熊本県議員連盟
有明海沿岸道路建設促進熊本県期成会**

有明海沿岸道路の建設推進を求める要望

熊本県の道路整備につきましては、日頃から格別の御配慮を賜り厚くお礼申し上げます。また、「平成28年熊本地震」や「令和2年7月豪雨」からの創造的復興や、「令和7年8月豪雨」からの復旧・復興の取組みにおいても、多大なる御支援・御尽力をいただき改めて感謝申し上げます。

「有明海沿岸道路」は、佐賀・福岡・熊本の3県にまたがる広域的な経済交流圏を創出するとともに、九州の循環型高速交通ネットワークの形成に不可欠な道路です。

令和3年6月に策定した「熊本県新広域道路交通計画」において、「有明海沿岸道路」を高規格道路として位置付けるとともに、新たに「有明海沿岸連絡道路」を構想路線に位置付けています。

「有明海沿岸道路」につきましては、「三池港インターチェンジ連絡路」において着実に整備が進められており、熊本県側では橋梁工事が本格化しています。

また、令和5年度に県内初の整備区間として事業化された「荒尾道路」では、今年度から用地買収に着手される予定です。さらに、「長洲町～玉名市」間においては、今年3月に2回目の計画段階評価が実施されるなど、有明海沿岸道路の整備に向けて、大きく取組を推進していただいております。

平成28年熊本地震では、九州縦貫自動車道をはじめとする幹線道路の被災・寸断により深刻な交通渋滞が発生するなど、災害時における道路ネットワークの多重性の確保の必要性を改めて認識したところです。近年の激甚化・頻発化する大規模災害に対応するため、救助活動や支援物資の輸送路となり、「命の道」としての役割も果たす本路線の整備は非常に重要です。

また、本路線は、熊本～福岡～佐賀県の重要拠点である熊本港・長洲港・三池港・九州佐賀国際空港などを連絡しており、物流の利便性が大幅に向上することで、沿線における企業進出や経済発展が期待されます。更に、沿線には万田坑や宮原坑、三重津海軍所跡などの世界遺産とともに、ラムサール条約湿地登録の荒尾干潟や柳川川下りなど多くの観光資源を有しており、広域観光ルートが形成されることで、九州全体の更なる発展に大きく寄与します。

有明海沿岸道路整備の進展を見据え、沿線に連なる観光資源等を活用して観光客を呼び込むため、民間での動きも活発化しており、令和4年6月に、熊本、福岡、佐賀、長崎の4県をまたぐ11の観光協会による「環有明海観光連合」が設立されました。さらに、昨年8月には、有明海沿岸地域全体の魅力を高め、地域全体が持続的に発展していくことを目的に、有明海4県26市町で構成する「有明海沿岸地域振興会議」が設立されるなど、広域的な取組みが推進されています。

本県のみならず九州全体の産業や地域の活性化、観光振興に資するとともに、地域間の物流を担う路線として平常時、災害時を問わず安定的な輸送を確保するためには、「有明海沿岸道路」の早期整備が必要です。

「有明海沿岸道路」の整備推進のために、周辺市町と一体となり、全面的に協力して参る所存ですので、次の事項について特段の御配慮を賜りますよう強くお願いいたします。

- 一 有明海沿岸道路「三池港 I C 連絡路」及び「荒尾道路」の早期整備
- 一 有明海沿岸道路「荒尾市～長洲町」間の早期事業化
- 一 有明海沿岸道路「長洲町～玉名市」間の計画段階評価の早期完了
- 一 有明海沿岸道路「玉名市～熊本市」間の早期事業化に向けた取組みの推進
- 一 社会資本整備に必要な予算の増額と道路関係予算を総額確保すること
- 一 令和 7 年 6 月に策定された第 1 次国土強靱化実施中期計画により、災害に強い道路ネットワークとして必要な高規格道路の整備を計画期間内に着実に推進すること
また、国土強靱化関係予算については、予算編成過程で資材価格の高騰や賃金水準の上昇等の影響を適切に反映し、必要な予算を満額確保すること
- 一 災害時でも安定的な人流・物流の確保に向けた高規格道路のミッシングリンクの解消やダブルネットワーク化等、幹線道路ネットワークを構築すること
- 一 道路整備に加え激甚化・頻発化する大規模自然災害に即応するための地方整備局等の人員体制の充実・強化や災害対応に必要な資機材の更なる確保に取り組むこと

令和 7 年 1 1 月 4 日

熊本県

知事 木村 敬

熊本県議会

議長 高野 洋介

有明海沿岸インフラ整備

3 県議会連絡会議熊本県議員連盟

会長 内野 幸喜

有明海沿岸道路建設促進熊本県期成会

会長 大西 一史